

Food Traceability

食品トレーサビリティシステムの導入支援

消費者や取引先から信頼されるために

日本の食品分野において「トレーサビリティ」という理念が注目されるようになったのは、国内で最初のBSE罹患牛が発見された平成13年のことです。この年以降、牛肉、鶏肉、茶、カキ、アサリ、うなぎ、乾椎茸などさまざまな品目で、産地等の表示偽装が相次いで発覚しました。また平成14年には国内での無登録農薬使用や輸入品の農薬残留が取り上げられ、消費者の不信感はピークに達しました。

マスメディアからそれらの問題が報道されると、事件の対象となった品目全般の消費が落ち込みました。食品の安全性自体に特段の問題はなくても、スキャンダルの対象となった産地や企業の製品全体が店頭から撤去される事態が相次ぎました。

これを通して、食品の安全を確保するだけでなく、消費者や取引先からの信頼を得ることの必要性が改めて認識されました。そこで注目されたのが「トレーサビリティ」です。

そしてその理念を実現するための仕組みが「トレーサビリティシステム」です。

「食品のトレーサビリティ」とは

食品のトレーサビリティ（追跡可能性）

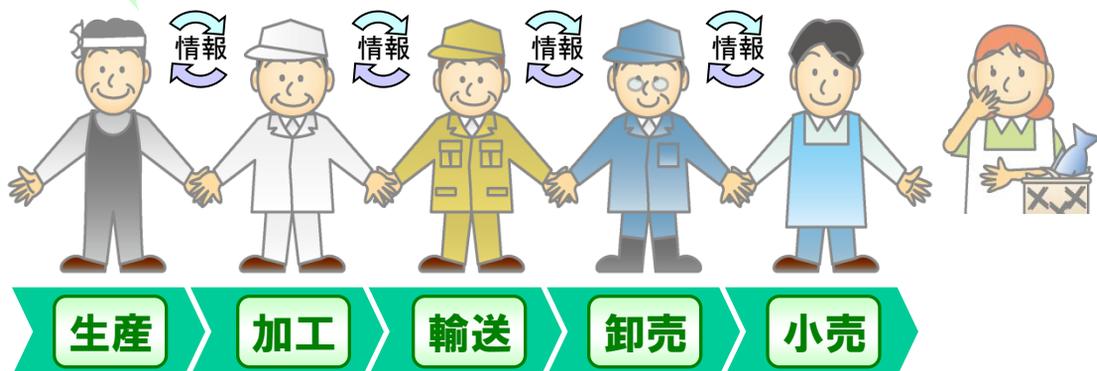
生産、加工および流通の特定の1つ又は複数の段階を通じて、食品の移動を把握できること

「食品トレーサビリティシステム導入の手引き」（平成19年3月改訂版）では、上記のように定義されています。この定義は、コーデックス委員会による定義を訳したものです。

生産・加工・流通を含むフードチェーンのうち、より広い範囲でトレーサビリティを確保するには、多数の事業者の方々の参加・協力が必要です。

どこに行ったのかわかる！

どこから来たのかわかる！



業務実績

食品需給研究センターは、トレーサビリティシステムの設計・導入支援や、ガイドラインの作成や改訂、実態把握調査、システム導入支援、普及啓発等のプロジェクトを実施しています。

多数の生産者・食品事業者や業界団体・行政等と協力し、フードチェーンのより広い範囲でトレーサビリティ向上を目指してコーディネートする。それが私たちの基本的な役割です。

年度	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
主な事件	■乳業食中毒事故	■国内でのBSE発生	■無登録農薬 ■残留農薬 ■このころ産地表示偽装が多数発覚	■米国でBSE ■鳥インフルエンザ				
法律・規格など				■牛トレーサビリティ法	■Codexによる定義成立 ■EUでトレーサビリティ義務付け	■JAS法による産地表示義務強化 ■ISO22000	■ポジティブリスト制度	■ISO22005発行予定
民間の取組み			■小売業者等による「産地証明書」要求、履歴情報の集約 ■生産段階での記帳など、事業者内の履歴管理の普及					
補助事業など： -要件定義			■「食品トレーサビリティシステム導入の手引き」 (作業部会に参加)			■認証システム検討 (事務局担当)	■「手引き」改訂 (事務局担当) ■「食品トレーサビリティシステムの要件」	
-開発・実証	■トレーサビリティシステム開発実証事業					■ユビキタス食の安全・安心システム開発事業		
			■トレーサビリティシステム導入促進事業					
			■宮城県産カキのシステム開発・実証、導入支援		■大分県産乾椎茸のシステム基本構想立案、導入支援 ■トレーサビリティ導入事例集の作成		■食品識別ルールの検討(事務局担当)	

※緑色の表記は、食品需給研究センターが実施したものを示しています

プロジェクト事例 1 :

宮城県産カキのシステム開発実証

(平成14年度、国庫補助)

表示への信頼向上や食中毒等の危機発生時における商品回収への貢献等を目的として、宮城県産カキを対象とするトレーサビリティシステムを設計・開発し、実証試験を実施しました。

このシステムは実証試験以来、宮城県漁連を中心に運用され、規模を拡大して稼働しています。

プロジェクト事例 2 :

大分県産乾椎茸のシステム基本構想立案

(平成16年度、自治体委託)

産地表示の信頼性向上のために、大分県産乾椎茸を対象としたトレーサビリティシステム基本構想を立案しました。トレーサビリティ確保の必要性や業務の実態調査、費用と効果の予測、情報システム仕様書作成、ガイドライン作成も実施しました。

このシステムは平成18年から稼働しています。

お問合せ

一般社団法人 食品需給研究センター

担当：調査研究部 酒井

住所：〒114-0024 東京都北区西ヶ原3-1-12

TEL：03-5567-1991 FAX：03-5567-1960

E-Mail: trace@fmric.or.jp

「食品のトレーサビリティ」webサイト: <http://www.fmric.or.jp/trace/>